



みんなで取り組む  
千葉の教育

# 県教委

# NEWS

Vol.284

4月号

【発行者】千葉県教育庁企画管理部教育政策課  
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1  
電話 043-223-4015

令和4年4月発行

## 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」の実現を目指して

～一人一人の可能性を伸ばして子供たちに輝く未来を～

千葉県教育委員会教育長 とみづか 富塚 まさこ 昌子

新型コロナウイルス感染症への対応を始めてから2年が経過しました。この間、学校では、保護者の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、感染拡大防止と学びの継続の両立に努めてまいりました。感染症への対応は現在も続いていますが、部活動や学校行事の制限等が長期化する中で、子どもたちの体力低下やストレスによる心身の不調、学習や交流の機会喪失による影響などが懸念されています。県としては、引き続き感染防止対策を徹底しながらも、この2年間で教職員と子どもたちが身につけてきた知恵と工夫を生かして一歩先に踏み出せるよう、段階的に制限を緩和し、ICT 機器等も活用しながら、グループ学習や体験学習など多様な学びの機会の確保を図ってまいりたいと考えております。皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今年度から、県の新たな総合計画「新しい千葉の時代を切り開く」がスタートしました。この計画では、10年後の千葉県の目指す姿について政策分野ごとに基本目標を掲げており、教育に関しては、「子どもの可能性を広げる千葉の確立」を基本目標とし、新しい時代に対応する「生きる力」を持ち、本県の未来を担う人材の育成を目指してまいります。

ここでは、県教育委員会の令和4年度の主な取組等についてご紹介いたします。

### 〈令和4年度の主な取組〉

#### 【児童生徒の心のケア】

新型コロナウイルス感染症の影響等により、子どもたちは、表面には現れていなくても我慢やストレスを抱えている場合があり、スクールカウンセラーへの相談では、特に小学校での相談が増加していることから、昨年度に引き続き、小学校へのスクールカウンセラーの配置を拡充します。

また、中高生を対象としたSNSを活用した相談については、より相談しやすくなるよう受付時間を工夫するほか、福祉団体等関係機関と連携し、生徒が気軽に相談できる場を、県立高校5校に設置します。

#### 【学力向上】

予測困難と言われる時代に子どもたちが社会で生き抜く力を身につけるためには、各教科で学んだことを生かして、未知の状況でも対応できる「思考力、判断力、表現力等」を養う必要があります。県では、これからの社会で求められる「考える力」を教科等横断的な視点で確認する、本県独自のテスト「ちばっ子学びの未来デザインシート」を実施してきましたが、今年度は対象人数を、昨年度の約5万人から約15万人へと大幅に拡大して実施します。このテストの結果をフィード

バックすることで、子どもたちは自らの学びを振り返り、学ぶ意欲の向上を図るとともに、市町村や学校が自らの結果を分析し、授業改善に活用できるよう指導助言を行ってまいります。

また、本県独自に、小学校の低学年・中学年に、算数・理科・体育・図画工作の専科非常勤講師を配置し、専門的な教科指導の充実や質の高い授業づくりを進めます。

さらに、県立学校のICT環境整備を推進するため、昨年度の新学習系ネットワークやタブレット端末の整備に続き、今年度は授業環境の一層の高度化を図るためのプロジェクターの整備や、ICT機器のトラブルなどの問い合わせに対応する「GIGAスクール運営支援センター」の設置を進めます。

また、ICT教育に関する教職員研修の充実と、活用の好事例の県内学校全体での共有を図り、県内どの地域、どの学校でも、授業等へのICTの効果的な活用が図られるよう努めてまいります。

### 【県立高等学校改革の推進】

県教育委員会では、今後10年間の県立高校改革に関する基本的な考え方を示す「県立高校改革推進プラン」を、本年3月に策定しました。策定に当たっては、公立中学校・私立学校の代表の先生や、産業界、PTAの代表の方にも懇談会の委員としてご意見をいただきました。県立高校では、工業科、商業科等の専門学科に加え、普通科においても教員養成や保育、医療などのコースを設け、社会のニーズや地域が求める人材の育成に努めるなど、特色ある教育を展開しています。しかしながら、今年度の県立高校入学者選抜では定員割れが生じている学校も見られたことから、今後、プランに基づき、新たな学科・コースの設置を含め教育内容の充実を図るとともに、中学生や保護者の方々に選んでいただけるよう積極的な情報発信を行ってまいります。

### 【系統的なキャリア教育の充実】

産業構造や雇用情勢が変化する中で、子どもたちが主体的に進路を選択できる能力を養うため、発達の段階に応じた系統的なキャリア教育を充実させてまいります。今年度は、中高生を対象とした、県内企業で働く人々のインタビュー動画の制作や、高校における、研究者や起業家等を講師とした講演会の開催、高校生が企業等と連携して地域や社会の課題解決を図るゼミの実施などに、新たに取り組んでまいります。特別支援学校においても、本年3月に策定した「第3次千葉県特別支援教育推進基本計画」に基づき、ICTの利活用による教育の質の向上を図りながら、卒業後の豊かな生活に向けた支援の充実を努めてまいります。

### 【子どもを育む学校・家庭・地域の連携・協働】

子どもたちが自立して、心豊かに力強く社会で生き抜く力を養うためには、学校だけではなく、家庭・地域において様々な人々と関わり、多くの経験を重ねていくことが必要です。県教育委員会では、学校と地域が力を合わせて子どもたちの成長を支えるため、目標を共有しながら学校運営に取り組むコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を推進するよう、学校と共に地域との連携を深めていきます。

今後とも、学校、家庭、地域のつながりによる大きな「教育の力」で、一人一人の可能性を伸ばし、子どもたちが未来に向かって力強く羽ばたいていけるよう、精一杯取り組んでまいります。

県教育委員会ウェブサイト

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

【お問い合わせ先】

企画管理部 教育政策課

電話 043-223-4177